

燕地区の商店街のみなさんにお話を伺ってきました。

商店街に来て！

加藤 克巳さん (仲町)

ノートブックはたまに読むくらいで、議会の傍聴に行ったことはありません。

店はこの場所に移ってきて32年がたちました。アーケードがなくなって客足は半減しているので、商店街活性化のため、行政の助けを借りたいと思います。

旧燕の住民の意識としては、吉田・分水に置いていかれるという気分があります。旧燕が薄っぺらにならないよう、議員には頑張っていただきたいですね。



議会が **もっと** / 近くなる

市民の声

アーケードがなくなって……

土田 皇子さん (宮町)

ノートブックは、たまに見ますよ (笑)。

アーケードがなくなって困っています。お客さんにとって買い物が大変になりました。雨もそうですが、雪の日は凍って足元が不安です。

市や議会に望むことは、雁木 (がんぎ) をつけてほしいことが一番ですね。

子育て支援は、福島から来た方も「子育てしやすいから来た。恵まれている」とおっしゃっています。



明治元年創業です

佐藤 正喜・明子さん (仲町)

仕事が忙しく、議会は傍聴したことはありません。

商店街にアーケードがなくなったので、お年寄りが雨や雪で困っています。アーケードがやはり欲しいですね。

新潟県人は真面目な気質なので、美味しい酒造りができるのです。商品の信頼と安全性のため、店独自のシールを貼って販売しています。



東京での勉強会で腕を磨いています

藤井 琢也さん (穀町)

ノートブックはよく読んでいますよ。

ここに店を構えて80年ほどたちました。最初は和菓子中心でしたが、その後ケーキづくりを始めて42年になります。東京での毎月1回の勉強会には10年くらい通っています。

燕市の商店街全体がさびれてきたと感じていますので、地域活性化がどうなるかとても気になりますね。



ウィンドウ・ショッピングのできる街へ

田中 良子さん (秋葉1)

議会にあまり関心がなく、ノートブックはほとんど読んでいませんでした。

お店を改装してから7年、商店街にお客様から来ていただきたい思いで今日まで仕事をしてきました。最近行われている1日限りのイベントではなく、通年賑わうような仕組みづくりをお願いしたいとともに、空き店舗を活用した起業家を育成し、商店街の活性化につなげてほしいと思います。



今回は大万(ダイヤモンド)、DONNA、石田屋、フジイ菓子店、リフォームスタジオ田耕さんにご協力いただきました。

編集後記

昨年10月の改選後、初めてのお正月を迎えました。

昔に比べて最近のお正月に、風情の薄れを感じている1人です。「一年の計は元旦にあり」とありますように、出発の時であり、新しい決意の時でもあります。新しい「ノートブック」の始まりです。委員一人ひとり担当ページを決め、取り組んできました。

市民の皆様「読み親しんでいただけるノートブック」を合言葉に、一生懸命取り組んでまいります。 渡邊雄三

今号の表紙

冬の風物詩の雪ダルマ。子どもの頃は、町内のあちこちで見られたものですが、最近はずっかり見られなくなりました。残念。見る人をニコリさせる雪ダルマの復活を願うのは私だけではないでしょう。この冬は1回見たので「1ニコリ」でしたが、皆さんは？

スマートフォンやタブレット端末からアクセスできます



【議会報等特別委員会】

委員長：渡邊雄三 副委員長：長井由喜雄
委員：タナカ・キン 宮路敏裕 柳川隆 白井文雄 山本知克 山崎光男